

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度版 対象期間（2024年4月1日～2025年3月31日）



発行日：2025年6月4日

改定日：2025年6月5日

株式会社 名大産商

目次

	頁番号
環境経営方針	1
社訓・社訓改定履歴	2～3
1 組織の概要	4～10
2 組織体制表（役割・責任・権限）	11
3 環境経営目標及び実績と取組の評価	12～15
4 環境保全活動への取組み	16～17
5 環境経営活動計画・取組み結果とその評価、次年度の取組み	18
6 環境関連法規などの遵守状況と違反、訴訟の有無	19
7 代表者による全体評価と見直し・指示	19
添付資料	
2024年度SDG s への取り組み	20
・ 環境関連法規（添付2）（1～14項目）	21～23
・ 許可申請に係る規制法令確認票	24
・ 苦情受付簿（外部）	25
・ 作業工程図（添付3）	26

エコアクション21

産業廃棄物処理業者向けガイドライン(2017年版)で作成

環 境 経 営 方 針

《 基本理念 》

当社は、緑豊かな自然に囲まれた静寂な名古屋市南部の緑区から愛知県の南西部に位置する飛島村の臨海工業地域に移転いたしました。

飛島村は、名古屋市中心部と三重県四日市市とのほぼ中間に位置する自然環境に恵まれた土地です。

私たちは、産業活動にともない発生する産業廃棄物処理のための産業廃棄物の収集・運搬業及び中間処分業、更には、各種リサイクルの提案及び各種リサイクル燃料や化成品の販売等での事業活動を行っています。

恵まれた環境のもとで事業活動をする企業としての誇りと責任をもち、会社の事業活動としての永続的な改善に努め、持続可能な社会の実現を目指していくべく、また、未来を拓く「環境ニーズ」に応えるべくこの基本理念を定めます。

《 基本方針 》

- 1.当社に適用される環境関連法規制等を順守すると共に、当社が同意するその他の要求事項を順守します。
- 2.電気、化石燃料等のエネルギー使用量を削減し、地球温暖化防止のために二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3.事業活動に伴う廃棄物の分別を徹底し、削減に努めます。
また、受託した産業廃棄物の再資源化を促進し、環境負荷低減に努めます。
- 4.節水に努め、水使用量の削減に努めます。
- 5.会社周辺の清掃を実施し、地域共生と環境保全に継続的に取り組みます。
- 6.当社に働く全ての人達が、この環境経営方針に沿った行動に努めるよう教育を実施し、意識の向上・啓発を図ります。
- 7.SDGs経営への取組みと、BCP対策を通じて事業の継続性を高めます。

なお、当環境経営方針は、社内外からの要求・その他必要に応じて公表します。

制定日：2010年6月1日

改定日：2022年7月15日

株式会社名大産商

代表取締役 **長瀬 有弘**

社 訓

1. 地域社会に貢献する企業であること。
2. お客様に愛される会社にする。
3. 会社内では、整理・整頓・清潔・清掃に心がけよう。
4. 関連法規の遵守を徹底する。
5. お客様のニーズに、いち早く応えよう。
6. 相違・工夫で実行しよう。
7. いつも感謝する、される人でいよう。
8. 家内安全で家庭を大切にしよう。
9. 仕事以外の人生の楽しみを持とう。
10. 笑顔で毎日を過ごそう。

株式会社名大産商

代表取締役 長瀬 有弘

平成29年9月11日

(2017年)

1.組織の概要（事業所名、所在地、事業概要、事業規模及び管理体制等）

1）会社概要

事業所名	株式会社名大産商		
代表取締役(代表者)	長瀬 有弘		
設立年月日	2008年9月11日		
資本金	2,000万円 (2019年 8 月1,000万円から2,000 万円に増資)		
所在地(連絡先)	愛知県海部郡飛島村金岡 2 0		(用途地域：工業専用地域)
電話/FAX	TEL：0567-55-8861	FAX:0567-55- 8862	
会社メール/会社（HP）	Mail:info@meidai-sansyo.jp	URL:http://meidai-sansyo.jp/	
従業員数（社長含む）	13名		
環境管理者	EA21責任者：代表取締役 長瀬 有弘		
環境管理代理者兼事務局	浅井伸彦（E-mail:n-asai@meidai-sansyo.jp） 産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業 特別管理産業廃棄物収集運搬業		
事業活動の内容	各種リサイクル燃料等の販売、その他タンクなどの清掃及びメン テナンス		

2）事業の規模

・事業の規模（廃棄物の収集運搬量、中間処理量、従業員数、事業所の床面積等）

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量	t	23,033	20,416	18,159
処理量	t	9,288	8,908	8,309
売上高	百万円	540	549	564
従業員（社長含む）	人	11	13	12
事務所延床面積	m ²	108	108	108
処理工場等床面積	m ²	482	482	482
処理工場等敷地面積	m ²	2,400	2,400	2,400

3）施設などの状況

（収集運搬車両等）

車両台数	運搬車両形式	台数
	大型ダンプカー	4
	大型フックローラー	3
	大型ウィング車	1
	大型吸引車	1

（営業車両）

車両台数	形式	台数（2022）	台数（2023）	台数（2024）
	ハイブリット	4	4	4
	ガソリン	2	0	0

その他車両	大型ホイールローダー	1
	リフト	4 ※2台電動リフト
	小型油圧ショベル	0 2023年7月売却

○計量器 台秤（最大計量容量40t） 1台（2025年3月15日 新台貫へ更新）

4) 各種リサイクル燃料の販売及び清掃及びメンテナンス

★各種リサイクル燃料の販売、その他タンク清掃及び、メンテナンス業務の体制を整え
下記事項のマーケティングを継続する。

・ リサイクル燃料(再生重油) の販売	0	K L /年(2024年度実績)
・ タンク/ピット等の清掃	19 回	(2024年度実績)

5) 認証登録の対象組織・活動

(認証・登録番号 0 0 0 9 4 3 8)

登録組織名：株式会社名大産商

対象事業所：本社工場

対象範囲：認証・登録範囲は全組織・全活動

★基準年度：2022年度実績を基準として

レポート対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

レポート発行日 ：2025年6月4日（更新審査）

次年度レポート対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

次年度レポート発行予定：2026年6月初旬（中間審査）

6) 事業状況（収集運搬量・搬入及び受託した処分量）

収集運搬（産廃） 単位：（t）

汚 泥	16,792	鋳 さい	176.89	廃酸	0.00
ダスト類	626	廃 油	188.54	廃アルカリ	8.56
廃プラスチック類	260.87	燃え殻	4.4	ガラス及び 陶磁器くず	0.15
金属くず	1	がれき類	32.94		
木くず	1.28				

収集運搬（特管） 単位：（t）

有害汚泥	14
腐食性廃酸	0
有害廃油	0
引火性廃油	52

【名大産商産業廃棄物搬入数量】 単位：（t）

	自社運搬量	他社搬入量	合計	入荷比率（%）
汚泥	4,734.93	3,089.00	7,824	94.16
燃え殻	4.74	26.23	31	0.37
鋳 さい	0.00	0.00	0	0.00
ダスト類 （ばいじん）	168.24	0.00	168	2.02
廃プラ類	256.47	1.80	258	3.11
ガラス及び 陶磁器くず	27.13	0.09	27	0.33
金属くず	0.32	0.48	0.80	0.010
数量	5,192	3,118	8,309	100

★「受託した産業廃棄物運搬量と処分量」

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量	t	23,033	20,416	18,159
処理量	t	9,288	8,908	8,309

7) 事業許可の内容

《産業廃棄物収集運搬業》

許可先(都道府県)	優良認定	許可の種類	許可番号	許可年月日	有効期限
愛知県	優	収集運搬業	第02310147156号	2019年3月19日	2031年3月2日
	優	収集運搬業(特管)	第02350147156号	2022年9月13日	2029年8月14日
	優	処分業	第02320147156号	2021年12月21日	2028年12月20日
三重県	優	収集運搬業	第02400147156号	2019年3月10日	2031年3月9日
	優	収集運搬業(特管)	第02450147156号	2022年10月19日	2029年10月11日
岐阜県		収集運搬業	02100147156	2022年2月8日	2027年1月5日
	優	収集運搬業(特管)	02150147156	2022年7月26日	2029年7月25日
静岡県		収集運搬業	第02201147156号	2021年11月11日	2026年11月10日
福井県	優	収集運搬業	01807147156	2019年2月18日	2031年2月17日
大阪府	優	収集運搬業	第02700147156号	2019年3月10日	2031年3月9日
和歌山県		収集運搬業	第03000147156号	2022年11月11日	2027年11月10日
		収集運搬業(特管)	第03050147156号	2022年11月11日	2027年11月10日
兵庫県		収集運搬業	第02806147156号	2021年12月13日	2026年12月12日
香川県		収集運搬業	03700147156	2021年4月8日	2026年3月7日
広島県	優	収集運搬業	第03400147156号	2025年1月14日	2032年1月13日
	優	収集運搬業(特管)	第03450147156号	2025年1月14日	2032年1月13日
山口県	優	収集運搬業	第03500147156号	2023年2月21日	2030年2月20日
		収集運搬業(特管)	第03550147156号	2022年12月5日	2027年12月4日
福岡県	優	収集運搬業	04000147156	2022年6月16日	2029年6月15日
	優	収集運搬業(特管)	04050147156	2022年6月16日	2029年6月15日

※ 2025年度 広島県 収集運搬運搬許可更新時、優良認定取得

・許可品目一覧

●：産廃

○：特管

《産業廃棄物収集運搬》《特別管理産業廃棄物収集運搬》

事業区分	許可先(産業廃棄物の種類)	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず	ガラスくず	鉋さい	がれき類	ダスト類	ばいじん	廃石綿
収集運搬	愛知県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		
	愛知県(積保)			●	●	●														
	愛知県(特管)	○	○	○	○	○										○		○		○
	三重県	●	●	●	●	●	●				●		●	●		○			●	
	三重県(特管)	○	○	○	○	○										○			○	○
	岐阜県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	
	岐阜県(特管)	○	○	○	○	○										○			○	
	静岡県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	
	福井県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	
	大阪府	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■			●		●	
	和歌山県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	
	和歌山県(特管)	○	○	○	○	○										○			○	○
	兵庫県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	
	香川県		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●			●			
	広島県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
	広島県(特管)	○	○	○	○	○										○			○	
	山口県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	●		●	
	山口県(特管)	○	○	○	○	○										○				○
	福岡県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	■		●	●		●	
	福岡県(特管)	○	○	○	○	○										○			○	

■ 大阪府ガラスくず

■ 福岡県ガラスくず等

★積替保管(廃油・廃酸・廃アルカリ) 保管面積：37.65㎡、保管容積：26.88㎡

★愛知県産業廃棄物収集運搬許可・積替保管(廃油・廃酸・廃アルカリ)取得。(2016/3/2許可)

8) 産業廃棄物処分量（中間処理）

・事業の範囲

中間処分：乾燥、混練、混練・乾燥、選別、破碎、破碎・選別の6種類

・許可内容（廃棄物の種類及び中間処理）

事業区分	（廃棄物の許可種類）	処理能力	燃えがら	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ダスト類	がれき類
中間処理	乾燥	9.9m ³ /日		●										
	混練	70.08t/日	●	●	●		●		●		●	●	●	
	混練・乾燥	9.9m ³ /日	●	●									●	
	選別	32.64m ³ /日			●	●	●	●	●	●	●			●
	破碎（※）	4.88t/日			●	●	●	●	●	●	●			●
	破碎・選別	4.72t/日			●					●	●			

※破碎（廃プラの処理能力）、木くず他は許可証参照

9)事業の区分と廃棄物の種類

許可品目及び処理工程(収集運搬)

収 集 運 搬(許 可 品 目) 愛知県 積替保管含む
産 業 廃 棄 物
燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ダスト類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類、鉱さい、(積替保管：廃油・廃酸・廃アルカリ) 計16品目



中間処理会社(搬入処理先)：資源化(堆肥化、土地造成土等)、リサイクル等、焼却処理、中和処理
最終処分：管理型埋立・セメント原料化・製鋼原料等

許可品目及び処理工程(収集運搬)

収 集 運 搬(許 可 品 目) 愛知県
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物
引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害鉱さい、特定有害石棉等、特定有害ダスト類、特定有害燃え殻、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ 計11品目



中間処理会社(搬入処理先)：資源化(リサイクル等)、焼却処理、中和処理
最終処分：管理型・セメント原料化等

許可品目及び中間処理工程図(名大産商処分)

※詳細はP9添付1「中間処理工程フロー」参照

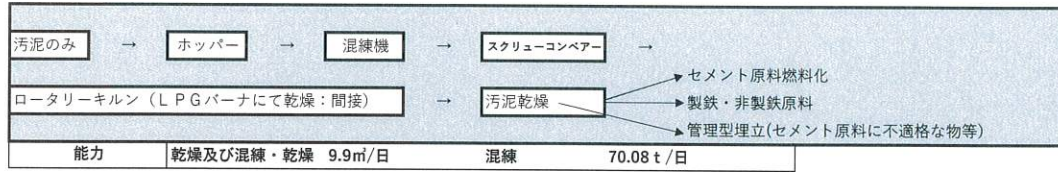
中 間 処 分(許 可 品 目)
産 業 廃 棄 物
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、ダスト類、紙くず、繊維くず、がれき類 11品目



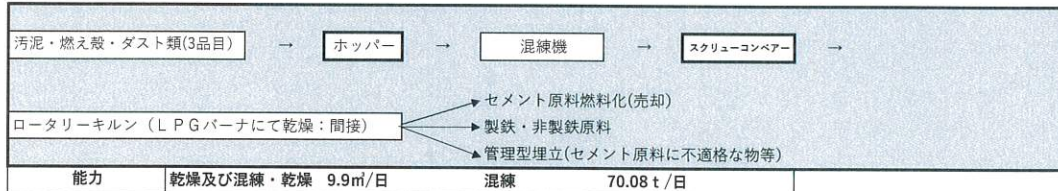
中間処分：乾燥、混練、混練・乾燥、選別、破碎、破碎・選別の6種類
⇒セメント原燃料化、土地造成土、管理型埋立等、リサイクル処理、等

中間処理工程フロー

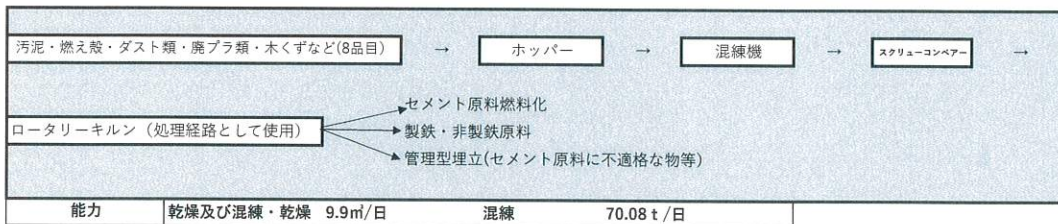
1. 乾燥施設(混練・乾燥施設と同施設：1体型) 【1品目】



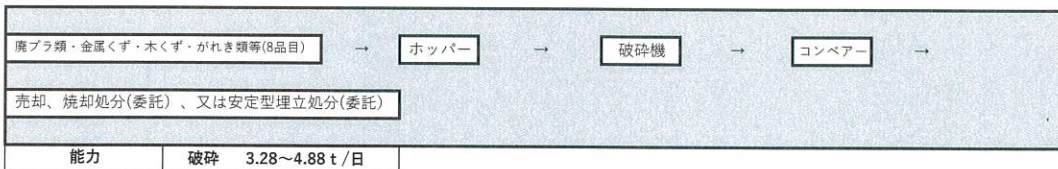
2. 混練・乾燥施設(混練施設と同施設：1体型) 【3品目】



3. 混練・乾燥施設(混練・乾燥施設と同施設：1体型) 【8品目】

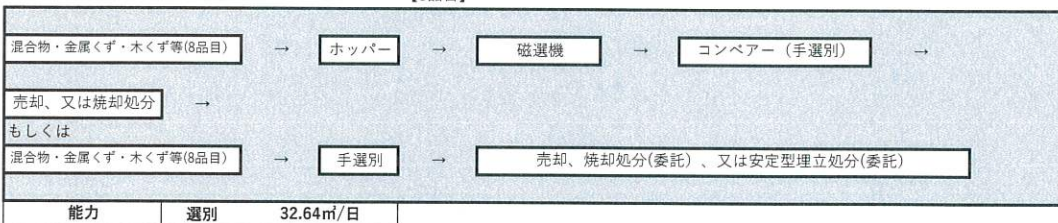


4. 破碎施設 【8品目】



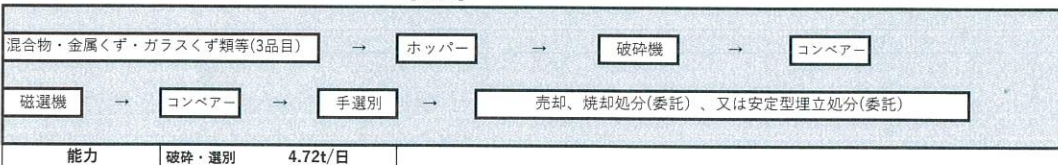
5. 選別施設

【8品目】



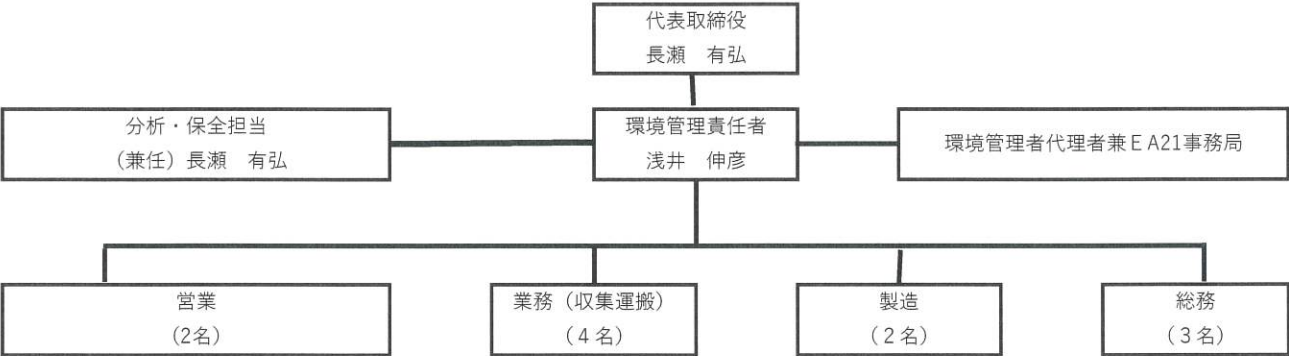
6. 破碎・選別施設 (3. の破碎施設、4. の選別施設と同施設)

【3品目】



【2024年度 組織体制表】

【環境組織図】



5) 役割/責任/権限

役職	役割・責任・権限
代表取締役 (兼) 分析・環境保全担当者	・環境経営全体の統括責任 ・環境への取組を実施に必要な人、設備などの準備 ・環境管理責任者の任命 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認・評価・見直し ・代表者による全体の取組結果の評価と見直しの実施 ・環境経営活動レポートを承認
営業部長 (兼) 環境管理責任者 EA21事務局担当	・環境管理責任者、EA21推進の事務局 ・各文書類、管理規定、基準書及び手順書の変更・作成をする ・EA21文書記録及び記録類の作成・維持管理 ・環境経営目標・環境経営活動計画書原案の作成 ・環境活動取組結果を代表者へ報告 ・従業員に対する教育訓練計画の作成とフォロー ・環境苦情・クレームの受付窓口 ・問題点の是正・予防措置に実施状況の確認・評価 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
営業兼収集運搬及び処理部門並びに総務・事務部門責任者	・自部門における環境経営システム活動の実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画に実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書の作成及び運用管理 ・自部門における問題点の発見、是正、予防措置の実施
各部門担当者	・環境経営方針を理解し環境関連法規に基づく環境活動を実施 ・自主的な環境経営活動への参加とルールの遵守

3. 環境経営目標(3年間)

①環境目標の設定

★2022年度実績を3年間（2023～2025年度）の環境目標の基準年度とする。

項目【責任者】	原単位	基準年度 2022年度	年 度 別 目 標			SDGsの ゴール として
			2024年度 2024/4/1～2025/3/3 1	2025年度 2025/4/1～2026/3/3 1	2026年度 2026/4/1～2027/3/3 1	
I	二酸化炭素の削減					
	①電気使用量の削減 【責任者：長瀬他】	電気量削減率	0.2	0.2	0.2	
		kWh	23,782	23,734	23,734	
		kg-CO ₂	10,916	10,894	10,894	
	②燃料使用量の削減 軽油 【責任者：鳥居他】 (収集運搬量23,033 t)	軽油削減率	0.4	0.4	0.4	
		軽油 ℓ	121,043	120,559	120,559	
		kg/ℓ * 1	190.3	191.1	191.1	
		kg-CO ₂	317,617	316,346	316,346	
	③ガソリン 【責任者：鳥居他】 (走行km54,002)	ガソリン削減率	0.3	0.3	0.3	
		ガソリン ℓ	4,474	4,461	4,461	
		km/ℓ * 2	12.07	12.11	12.11	
		kg-CO ₂	10,389	10,358	10,358	
	④液化石油ガス 使用量の削減 【責任者：長瀬他】 (汚泥処理量9,209t)	LPG使用量の削減率	0.5	0.5	0.5	
II		LPG使用量kg	8,901	8,856	8,856	
		kg/kg-LPG * 3	1034.60	1029.43	1029.43	
		kg-CO ₂	26,703	26,568	26,568	
	kg-CO ₂ 合計	kg-CO ₂	365,624	364,167	364,167	
	①産業廃棄物の削減 【責任者：長瀬他】 (処理後産廃排出量8,895 t)	リサイクル率向上	3	3	3	
		リサイクル率	40.0%	40.6%	40.6%	
		セメント・製鋼原料 化量 (t) * 4	3,554	3,611	3,611	
	②事業系一般廃棄物 排出量の削減 【責任者：野下他】	削減	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減	
		kg	193	192	192	
	水使用量の削減 【責任者：鳥居他】	削減	0.5%削減	0.5%削減	0.5%削減	
		m ³	445	443	443	
IV	BCP取組み	目標（火災・震災対策）	訓練内容の充実	訓練内容の充実	訓練内容の充実	

※2017年度以降：軽油・ガソリン、LPG、産業廃棄物の目標管理及び評価は原単位で行う。

* 1. 軽油の原単位：産廃収集運搬量kg÷軽油量 ℓ、

* 2. ガソリンの原単位：走行距離km÷ガソリン量 ℓ

* 3. LPGの原単位：汚泥処理量kg÷LPG-kg、

* 4. 産廃のリサイクル原単位：原料化汚泥量kg÷産廃の処理量 k g

エネルギー源	係数		備考
電力	kg-CO ₂ /kWh	0.459	中部電力ミライズ 調整後排出係数を使用
軽油	kg-CO ₂ /ℓ	2.624	0.0687 kg-CO ₂ /MJ
ガソリン	kg-CO ₂ /ℓ	2.322	0.0671 kg-CO ₂ /MJ
LPG（液化石油ガス）	kg-CO ₂ /kg	3.000	0.0598 kg-CO ₂ /MJ

2. 環境経営目標の実績(取組結果)

・運用期間【2024年度：2024年4月～2025年3月の年間実績】

		単位	基準値 (2022年)	目標値 (2024年)	実績値 (2024年)	達成率 (%)	評価	SDGの ゴール として
二 酸 化 炭 素 の 削 減	電気使用量の削減 事務所系	kWh	7,635	7,620	6,246	122%	○	
		kg-CO2	3,504	3,497	2,867		—	
	同上 工場・駐車場系	kWh	16,147	16,115	14,573	111%	○	
		kg-CO2	7,411	7,397	6,689		—	
	合計	kWh (目標現状維持)	23,782	23,734	20,819	114%	○	
		kg-CO2	10,916	10,894	9,556		○	
	軽油使用量削減 (燃費効率)	燃費効率向上 (kg/ℓ) 現状維持	190.3	191.1	193.4	101%	○	
		軽油使用量 (ℓ)	121,043	120,559	119,109	101%	○	
		産廃収集運搬量 (t)	23,033	23,033	18,150	127%	○	
		kg-CO2	317,617	316,346	312,542	101%	○	
	ガソリン使用量 の削減 (燃費効率向上)	燃費効率 (km/ℓ) 現状維持	12.07	12.11	14.81	122%	○	
		走行km数 (km)	54,002	54,002	82,152	66%	×	
		ガソリン使用量 (ℓ)	4,474	4,461	5,548	80%	△	
		kg-CO2	10,389	10,358	12,882	81%	△	
	LPG (液化石油ガス) 汚泥処分乾燥用 (処分汚泥比向上) 【汚泥処理量9,209t】	汚泥量比 (kg/kg-LPG) 目標現状維持	1,034.6	1032.5	3,687.1	357%	○	
		LPG使用量 (kg)	8,901	8,856	2,122		—	
		汚泥処理量 (t)	9,209	9,209	7,824		—	
		kg-CO2	26,703	26,568	6,366		—	
	CO2 排出量合計			365,624	364,167	341,346		—
産業廃棄物の削減 (リサイクル率)	リサイクル率の向上 現状維持	セメント・製鋼原料化量 (t)	3,554	3,611	3,630		—	
		処理後産廃排出量 (t)	8,895	8,895	7,964		—	
事務系一般廃棄物 排出量の削減 (0.5%削減)		kg	193	192.0	188.0	102%	○	
水使用量の削減 目標現状維持	m³	事務系82	事務系81	事務系71	120%	○		
		工場系363	工場系333	工場系300				
		合算 445	合算 443	合算 371				
BCP取組み		目標 (火災・震災対策)		訓練内容の充実	実施			

削減目標：達成率計算式：目標÷実績×100 ○：目標達成率95%以上、△：達成率80%以上、×：達成率80%未満

向上目標 達成率計算式：実績÷目標×100 ○：目標達成率95%以上、△：達成率80%以上、×：達成率80%未満

×評価の項目は是正措置報告書に記載

* 表中の原単位及び化石燃料のCO2換算係数については、下記CO2換算係数を使用

※化学物質等の取り扱いなし

※2017年度以降：軽油・ガソリン、LPG、産業廃棄物の目標管理及び評価は原単位で行う。

* 1.軽油の原単位：産廃収集運搬量kg÷軽油量 ℓ	* 2.ガソリンの原単位：走行距離km÷ガソリン量 ℓ
* 3.LPGの原単位：汚泥処理量kg÷LPG-kg、	* 4.産廃のリサイクル原単位：原料化汚泥量kg÷産廃の処理量 k g

CO2換算係数

エネルギー源	係数	備考
電力	kg-CO2/kWh	0.459 中部電力ミライズ 調整後係数を使用
軽油	kg-CO2/ℓ	2.624 0.0687 kg-CO2/MJ
ガソリン	kg-CO2/ℓ	2.322 0.0671 kg-CO2/MJ
LPG (液化石油ガス)	kg-CO2/kg	3.000 0.0598 kg-CO2/MJ

収集運搬車両の燃費改善及び営業車両のガソリン使用量の削減(添付資料)

【目標】軽油

運搬効率改善と燃費改善

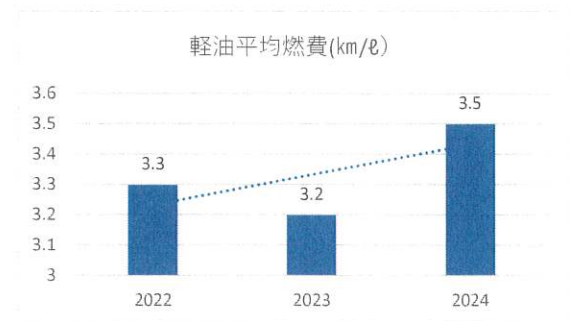
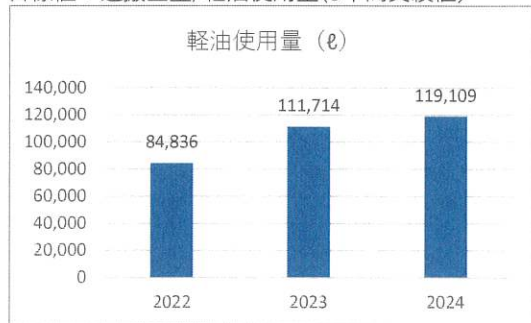
2024年度 目標値 ⇒ 120,559 ℓ/年、191.1kg/ℓ

2024年度 実績 ⇒ 119,109 ℓ/年、193.4kg/ℓ

管理指標（燃料当たりの収運量：kg/ℓ）

使用量：△1,450 ℓ

目標値：運搬重量/軽油使用量(3年間実績値)



【目標】ガソリンの効率的な使用による燃費改善

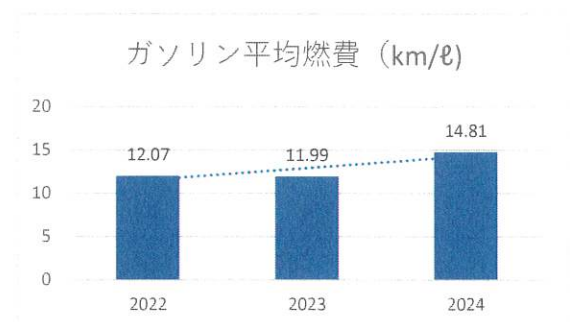
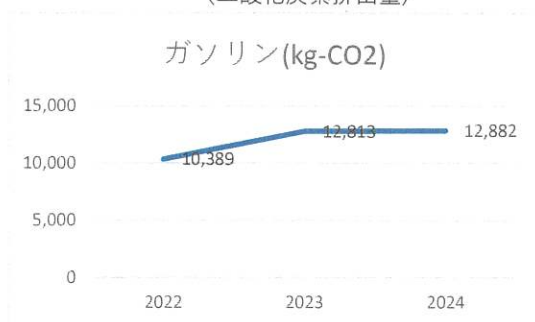
2024年度 目標値 ⇒ 4,461 ℓ/年、12.11km/ℓ

2024年度 実績 ⇒ 5,548 ℓ/年、14.81km/ℓ

使用量:1,087 ℓ 増加

【取組の実績】

(二酸化炭素排出量)



【目標】 効率的な処分方法を確立してガス使用量を削減する

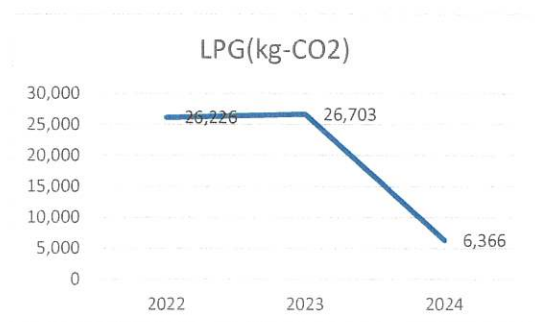
【評価結果】

LPG(ブタン系)

2024年度 目標値 ⇒ 8,883 kg

2024年度 実績 ⇒ 8,901kg

(目標に対する使用実績：18kg増加)



【目標】 産業廃棄物のリサイクル率向上

【評価結果】

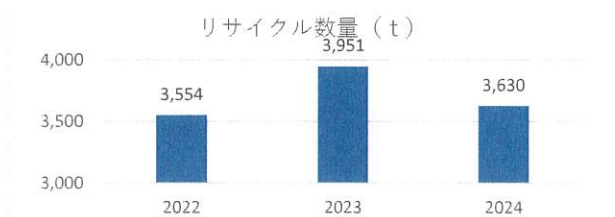
(リサイクル率向上/数量値)

2024年度 目標値 ⇒ 3,625t

リサイクル率⇒40.8%

2024年度 実績 ⇒ 3,630t

リサイクル率⇒45.6%



二酸化炭素総排出量の推移

(kg-CO2)

2024年度 目標値 ⇒ 364,166

削減 (対目標) : 22,360kg-CO2)

2024年度 実績 ⇒ 341,346



【目標】 BCP目標に対する実質的な活動評価

(グリーン購入評価から2023年度よりBCP目標活動へ変更)

(震災・台風対策)

2024年度、工場内屋外ピット屋根を災害対策のためシートから鋼板へ変更。安全性の強化を図る。同時に同ピット廻り保護板も併せて取り換えを行った。工場休憩室に関しては災害監視用としてテレビを導入。工場内で作業する社員向けにトイレの更新・お風呂を新設。働きやすい環境を整備した。



(火災・震災訓練)

毎年環境活動の一環として行っている火災・震災訓練は令和6年2月に実施。特に問題はなかった。

今年度事業継続性の点から大震災の際、本社駐車場に駐車中の大型車輛を速やかに移動する旨変更した。

【評価結果】

これらの活動内容を実施・見直し、取組みを継続してゆくことで事業性の確保に努めるよう努力してゆきます。

【次年度の取り組み内容】

2024年度環境経営活動の結果から、次年度以降の中期計画のPDCAが廻るよう取り組んでゆきます。

4. （１）環境保全活動の取組み

【大型車輛駐車場】

2020年10月より大型車輛は本社工場内に車輛駐車スペースが完成し全車輛駐車。

車輛からの油漏れ対策として油水分離槽を設置。

2021年度から油水分離槽の水は毎月定期的に入替。工場汚泥の処理に利用。

駐車場には植樹し緑化を推進。（1部植え替え）

2024年度、毎月1回、定期的に分離槽の掃除と水の交換を実施。

【分離槽清掃作業】



4. （２）環境保全活動の紹介・・・工場外近隣の清掃活動について

環境保全活動を継続的に取り組んでおり、工場外周の雨水溝清掃、雑草取り等の清掃
干潟の回遊プラゴミ回収活動を行っております。（1回/月）

①工場外（干潮時に回遊プラの回収 毎日）



4. (3) 環境保全活動の紹介（職場環境の改善）・・・事例

環境保全活動を継続的に取り組んでおり、今期新たにプランターを設置



5. 環境経営活動計画・取組み結果とその評価、次年度の取組み

環境活動計画	環境活動の取組み	取組結果			次年度
		事務所	工場	収集	
CO2排出量の削減 (電力・ガス使用量)	・エアコン温度調整 (夏季26-28℃・冬期18-20℃)	○	△	—	継続
	・空調機器(加湿器・空気清浄機)	○	○	—	継続
	・OA機器は省電力設定にする	○	○	—	継続
	・工場内不要設備の電源を切る、処理方法の見直し	○	○	—	継続
評価・次年度取組み	・電力使用量は、処理方法の改善等により電力を削減できた。 △2,915kwh。次年度以降も効率の良い取組みを継続する。				継続
燃料使用量の削減(軽油) (燃料消費による二酸化炭素排出量の削減)	・日常点検実施	—	○	○	継続
	・暖気運転時間の短縮	—	○	△	継続
	・効率的に収集運搬する	—	—	○	継続
	・運転者教育の実施	—	○	○	継続
燃料使用量の削減(ガソリン) (燃費効率向上)	・定期点検の実施	—	—	○	継続
	・計画的な訪問スケジュール調整	△	—	—	継続
	・エコドライブの実施	○	—	—	継続
評価・次年度取組み	廃棄物の運搬量は昨年実績△2,257tとなった。CO2は目標値をクリア。適正運行管理の実施とエコ運転を継続する。ガソリンは使用量増。不足品入荷のため顧客訪問件数を増やした結果。次年度、効率的な訪問スケジュール調整・エコドライブへの取組みを継続する。				継続
LPG(汚泥乾燥用・暖房用) 使用量の削減	・汚泥の処理方法を見直し	○	○	—	継続
	・受入廃棄物の性状見直し	○	○	—	継続
評価・次年度の取組み	・受入廃棄物昨年実績対比(△599t)、入荷廃棄物と処理方法の組み合わせを大幅に見直し。乾燥用ガス使用量削減が出来た。次年度も入荷物内容見直しを継続する。				継続
産業廃棄物の削減 (リサイクル率)	・適正処理によるリサイクル化推進。	○	○	—	継続
	・良質な原料(廃棄物)受入れ推進	—	○	○	継続
評価・次年度の取組み	今年度リサイクル率、目標をクリア。次年度も今年度の取組みを継続する。				
紙使用量の削減	・誤コピーを少なくする。	○	—	—	継続
	・裏紙の再利用	○	○	—	継続
	・社内ネットワークによる情報の共有化	○	—	—	継続
評価・次年度の取組み	・取組みが実施されている。次年度も取組みを継続する。				継続
水使用量の削減 (目標：現状維持)	・節水表示をする	○	○	—	継続
	・こまめな節水の意識付け	○	○	—	継続
評価・次年度への取組み	・取組みが実施されており、次年度も引続き節水を図る。				継続

取組み評価 ○十分

△不十分

—未実施

6.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果と違反・訴訟等の有無

【主要環境関連法規名】

産業廃棄物処理法、大気汚染防止法、振動・騒音規制法、労働安全衛生法、消防法、
浄化槽法、愛知県環境保全条例、飛島村環境保全条例等

2023年度環境経営活動をする中で、弊社の環境関連法規一覧表に基づき遵守状況を精査したところ違反は有りませんでした。

また、工場近隣からの苦情・クレーム及び行政などからの指摘・指導も有りませんでした。

7. 代表者による環境活動の全体評価と見直し・指示(2024年度)

<2024年度の全体評価>

実施日	2025年4月5日（土）	実施場所	社内会議室
参加者	代表取締役（長瀬） 環境管理代理者（浅井）	記録作成日	2025年4月8日（火）
		作成者	営業部：長瀬隼

先回の指示事項

- ・環境コミュニケーションの実施
- ・エネルギー使用方法の改善

取組みに関する評価

- 燃費改善を都度意見交換
- 半期ごと車輦（軽油使用車）の燃費等の確認

	項目	評価・次年度への指示
1	環境経営方針	実施済みの環境経営方針を基に持続可能な環境経営活動に取り組んでください。実施体制については現状のままの体制で進めます。
2	環境経営目標の達成状況	・CO2排出量の削減・・・ガソリンが目標未達 ・リサイクル率の向上・・・汚泥リサイクル率(目標値約5%UP) ※汚泥入荷量減少（△599 t/昨年実績対比）を考えればリサイクル率向上しており目標達成とみる。次年度も活動を継続してください。 ・省エネルギー・・・ガソリン使用量が目標未達（80%）。集荷営業強化で燃料使用量増が影響。活動内容の見直し改善を次年度図ること。
3	環境経営計画	収集運搬車両に使用する軽油に関して、半年に1回、各車両の燃料使用量、燃費などをグラフ化し、削減への取組み意識を社員で共有した。今後も環境計画を予定通り実行することにより環境経営目標の達成を目指し、継続的な改善を進めてください。
4	環境経営システム （環境関連法規の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望）	現時点の活動に問題なしと判断する。 （苦情・クレーム等は無かった） 次年度もコンプライアンス遵守を継続すること。
5	環境経営活動の取組みと評価	現時点の活動に問題なしと判断する。次年度以降も環境経営活動積極的に取り組んで欲しい。
6	総括評価	2024年度環境経営活動については良好な取り組みが出来たものと判断する。一方目標達成状況は、「ガソリン使用量の削減」が未達となった。集荷不足に対応すべく営業活動を強化したためで一過性であるものとする。処理に関しては使用するLPGガス削減の取組みに大きな成果があった。今後もCO2削減に向け社員一同で設定した環境経営目標をクリア出来るよう取組んでください。